

学校カフェ「いわくらッコ」

▶▶ キーワード 民生児童委員、カフェ

取組概要

民生児童委員が中心となり、昼休憩に子どもたちとの交流活動を実施。放課後までの時間は地域住民同士の交流の場として活用。

取り組みの詳細

- 子どもや学校が地域住民とつながる機会を創出することが課題であった。
- 地域住民の中には、「地域で子どもを育てる」という意識はあるが、学校の敷居は高いと感じていた。
- 「地域の方が誰でも訪れることができ、子どもたちと交流できる場所」を学校運営協議会で計画
- 子どもや教職員、保護者、地域住民が参加する拡大学校運営協議会で多くの意見を取り入れ実現。カフェの名称は子ども達から募集し、決定。
- 「人・もの・場所・予算・時間・情報発信」の視点で計画的、段階的に準備を進めた。

学年ごとに制限を設けないといけないほど、毎回多数の子どもたちが参加しています。

活動内容

- 学校内の一画にカフェを設置(月3回程度開催)
- 交流活動はCS会長をはじめ、民生児童委員を中心に**子どもの意見を聞きながら、ものづくりや昔遊び、クイズなどを企画運営**
- 放課後までの時間は地域住民同士の交流の場として活用



● 成果・効果

- ・ 友達でも教職員でもない関係性の構築とともに、言葉遣いの変化が見られた。(コミュニケーション能力)
- ・ 「地域の人に発表を見てもらいたい」、「何かお返ししたい」など、主体性・自発性の取組につながった。
- ・ 地域の方が自分の強みを発揮できる活躍の場となっている。

● 関係者の声 (民生児童委員)

- ・ 子どもたちとの交流で元気をもらえる。
- ・ 参観日後には、地域住民と保護者との交流のきっかけとなった。

● 活動データ

- ・ 開催頻度：月3回程度開催 (放課後チャレンジ教室)
- ・ 活動場所：ゆめホール (廊下が交差する広い場所)
- ・ 対象者：低・中・高学年と毎回対象を変えている。
(場所に限りがあるため)
- ・ 企画・運営：民生児童委員